

『浮世絵類考追考』（山東京伝考証・享和二年十月成立）所収

○菱川系図

藤原姓

菱川七右衛門

房州平群郡保田住【家業縫箔屋、其業精妙也】

同 吉左衛門道茂入道光竹

寛文二年二月十五日歿

実子 浮世絵始祖 始縫箔師後画ヲ以テ一家ヲナス

同 吉兵衛師宣入道友竹

房州平群保田丁産、若年ノ時

江戸ニ移リ居ス、正徳年中、

於江戸ニ歿、享年七十余。

○居所ヲ考ニ、貞享四年板、

江戸鹿子 村松町二丁目

元禄二年板、江戸凶鑑 及元禄五年板

買物調方三合集覧 橘町トアリ、

一説ニ堺町横丁、又大伝馬町

二丁目ト云、是等転宅ノ所ナルベシ

門人

菱川政信 画風ヨク師ニ似タリ

字は守節

菱川友房 画風似て筆劣れり

元禄中の人、

江戸長谷川町住居

門人

古山太郎兵衛師重

凶鑑に見ゆ、三合集覧に

菱川太郎兵衛とあり、

古山は本姓なるべし

大和絵古山師重図

(瓢箪印)

二男

同 正之丞

実子

同 吉兵衛師房

始吉左衛門ト称ス。鹿子及凶鑑

三合集覧等ニ吉左衛門ト有リ、

父師宣ト同居、始絵師、

後紺屋トナル

二男

同 冲之丞師永

鹿子及凶鑑ニ作之丞トアリ、

一説酒造之丞。父ト同居、

彩色に妙を得たり

実子

同 佐次兵衛重嘉 家業紺屋

二男

同 弥右衛門

門人

同 新九郎師政 享保中ノ人

称文志

江戸両国米沢町、此人ニ至リテ菱

川風ノ画風ヲ失フ。世事談ニ見ユ